

*Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper*

# きょうさいだより



「陶山神社の桜」(有田町) 西野 彰晃氏撮影

SASEBO KYOSAI HOSPITAL

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号

(代表)TEL0956-22-5136

紹介受付専用FAX(地域医療連携室) ☎ 0120-12-2067

ホームページ <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通FAX電話 0956-22-6052 (代表)FAX 0956-25-0662

※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

院長 き でら よしろう  
木寺 義郎



## 略 歴

- 昭和39年 佐賀県立武雄高校卒業
- 昭和45年 九州大学医学部卒業
- 同 年 九州大学産婦人科入局
- 昭和53年 九州大学医学部癌研究施設  
(現在の生体防御医学研究所)助手
- 昭和57年 佐賀医科大学 (現在の佐賀大学医学部)  
産婦人科助教授
- 昭和60年 佐世保共済病院産婦人科部長

## ごあいさつ

このたび福井仁士院長の後任として、本年1月1日付けで病院長を命ぜられました。これまでの私の履歴を振り返りますと、大学病院で学んだ経験は浅く、佐世保共済病院において修練した期間は、昭和60年に佐賀医科大学を辞して以来となりますので、実に23年に及んだこととなります。私の臨床医としての素地は、当院での修練の中で培われたものであり、まさに地域の皆様に育てていただいたと言っても過言ではありません。

この20数年の間に、社会環境の変化にともない医療事情も大きく変わりました。少子高齢化の中で限られた社会保障費を如何に分配するかで、国の方針もめまぐるしく変わってきました。国の方針に従って対応した結果、後になってマイナス効果を生んだという事例も少なくないように思います。常に患者さんのニーズに視点を置いた医療を貫くことが肝要であると思います。また地域格差と新臨床研修制度が、地方の医療環境に暗い光を投げかけております。1つの医療機関だけで、すべての高度な専門医療を充実させることは困難な状況となり、限られた医療資源を有効に活用するように医療機関の機能分担が提唱され、長崎県北地域でも一部の医療事業とはいえ集約化が進められつつあります。当院も残念ながら、この4月からは脳外科の休診、小児科、内科の人員減にともなって、入院・外来の一部縮小を行わざるを得ない状況となりました。その影響で患者さんに転院をお願いする必要が生じる事態も予想されます。周辺の医療機関にもご協力をお願いしているところです。皆様にはご迷惑をおかけ致しますが何卒ご了承下さい。

しかしこれからも当院は、総合病院として疾病の初期治療は勿論のこと、2次的な医療までは対応できる病院でありたいと願っております。これまでは、いわばゆりかごから緩和医療まで、そして救急医療にもほぼ対応してきました。これは将来の医療を担う研修医を育成するうえにも、極めて大切なことであると思います。

間もなく当院は創立100周年を迎えます。一時的には縮小や閉鎖する診療科がでてきても、将来的には自立した医療機能を維持・確立し、急性期病院として存続していくことが当院の目標です。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 副院長就任の御挨拶

はぎはら ひろし  
副院長 萩原 博嗣



### 略歴

- 昭和43年  
長崎県立佐世保北高校卒業
- 昭和51年  
九州大学医学部卒業
- 同年  
九州大学整形外科入局
- 昭和58年  
北九州市立病院整形外科副部長
- 昭和60年  
佐世保共済病院 整形外科医員
- 平成10年 同部長

この度、木寺義郎先生が院長になられた後を継いで副院長を拝命しました。この医療危機のさ中に重責を担うこととなり、途方にくれる思いをしております。

と申しますのも、先日消化器内科の医師3名が突然大学医局に引き上げとなり、内科は今年度は6名が退職、新たな赴任は2人のみで、4名減員という事態となりました。

この為、当院内科の外来・入院は大幅な制限が必要となり、当直も現在の内科系、外科系各1名の2本立てから1名のみの体制にせざるを得ないこととなります。脳外科の休診、小児科の救急受付停止とあわせ、佐世保共済病院は、医療行政の失敗に端を発した医師不足に直撃されて厳しい試練の事態と向き合うことになりました。

しかしながら百年近い歴史を有し、佐世保市民の信頼に支えられてきたこの病院をむざむざ衰えさせることは断じて出来ません。今こそ職員一丸となって、失った部分を補いつつ再生に向けて努めなければなりません。

まずは病診連携の再構築を最優先と考え新たな体制で取り組むことと致しました。欠員となった医師の補充は可及的速やかに行う事を目標に頑張っ  
て参る所存です。

どうか今後も当院を何卒よろしくお願い致します。

## 学術講演会について

はぎはら ひろし  
副院長 萩原 博嗣

### 久留米大学医学部放射線医学講座 早瀬 尚文教授

はやぶち なおふみ

放射線治療は、かつては癌の末期で他に治療法がない場合に姑息的に行われる、いわば「敗戦处理的」な治療と考えられていたが、近年コンピュータ技術などの機器の発達によって「エース」の役割を果たすようになったことが、治療成績のデータによって示されました。

治療の実績では、例えば喉頭の癌などでは手術を行うと発声機能が失われますが、放射線治療では機能が温存されるなど、その優れた点を症例をあげて説明していただきました。

最近では、IMRT(強度変調放射線治療)という病変部を多方向からピンポイントに照射して正常組織に障害を来さない治療法が開発されたこと、更にその次世代装置や、近く北部九州に導入予定の重粒子線治療にまで言及されました。

そして、このような治療法の発展はもちろん大切であるが、患者さんとのふれあいという原点を忘れてはならないという聴衆に感銘を与える言葉で講演を締めくくられました。

大変分かり易い内容で、ご来場頂いた病院内外の多くの方々にとって有意義な御講演であったことと思います。





(はじめに)

この度、当院のCTとMRIが新規に入れ替わりとなりました。これらの画像機器の発展は目覚しく、新しい撮像法も次々に開発され、多列化が進んだMDCT(多列検出器型CT)も新たな世代が出現してきています。今回、当院が導入したCTとMRI機種についての特徴を御紹介いたします。

(MRI)

これまで約10年間、使用してきた1.5T(テスラ)のMRI装置は老朽化して、院内外の先生方には大変申し訳なく思っていました。2007年度末にようやく最新機種に入れ替えとなりました。導入した機種はPhilips社製1.5T Achieva Nova Dualという1.5Tの最上機種で、各部位のルーチン検査が非常に高画質かつ高速で撮影できるようになりました。この機種の特徴を次に列記してみます。

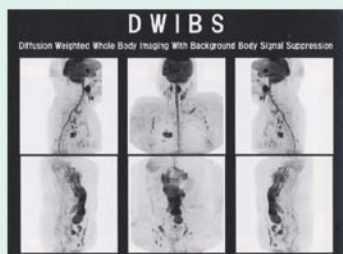
1. 頭部のみならず全身の拡散強調画像を得ることができます。この拡散強調画像というのは人体の水プロトンの拡散程度を画像化したもので、脳膿瘍と転移性脳腫瘍の鑑別や急性期の脳梗塞、悪性リンパ腫などの診断で非常に有効となり、この他にも全身の多くの疾患において有用性が報告されています。PETの機能に匹敵する悪性疾患のスクリーニングとして体幹部撮影(DWIBS)もできるようになりました。(図ア) しかもPETとは異なりMRIですので被曝がなく検査が行えます。

2. 高速・高画質・広範囲の非造影および造影脈管系撮影が可能となりました。これまでの懸案であったMR胆管膵管撮影(MRCP)画像も非常にきれいな像を提供できるようになり、MRアングリオも大血管はもちろん、末梢血管まで高画質の撮像が可能となりました。(図イ)

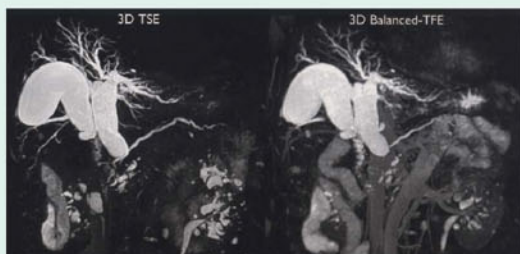
3. 高分解能画像の撮影が可能となりました。特に表在性病変(図ウ)や関節病変(図エ)などでマイクロスコピックコイルを用いた圧倒的な高精度画像が提供できるようになりました。

4. 頸動脈のMRA画像に加え、プラーク(動脈硬化斑)を拾い上げることができるプラークイメージ画像が提供できるようになりました。

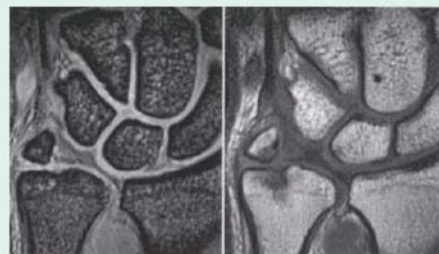
さらに今後開発されてくる撮像法に対処できるようにバージョンアップも可能な機種を導入しています。



▲図ア:DWIBS



▲図イ:MRCP



▲図ウ:表在性病変  
(手関節)

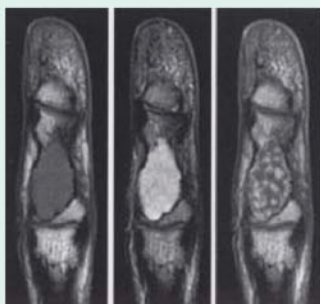
## (CT)

これまで使用した4列のMDCTがSIEMENS社製 SOMATOM Definition Dual Source CT(64列)に入れ替えとなりました。これは世界初の管球を2つ用いたCTで、当院が九州第1号機です。X線発生器(X線管球)とX線検出器を一对搭載しているものが従来までのCT装置ですが、それに対し今回導入した装置はX線発生器とX線検出器を二対搭載しています。これにより、従来の半分の時間(0.08秒で1画像)での超高速撮影が可能となり、動きの早い心臓の血管(冠動脈)の描出能が向上します。(図オ) 従来のMDCTでは心拍数の高い方の冠動脈撮影は心拍数を下げる薬剤( $\beta$ ブロッカー)投与が必要でしたが、この薬剤を投与できない患者さんも稀ではなく、検査を断念することもありました。このCTでは高心拍でも薬剤投与をせずに撮影が可能となり、被曝線量も50%削減されます。また、2つのX線管球から異なるエネルギーX線を同時に発生することで、従来で得られなかった情報を得ることも可能となり、様々な臨床応用への試みが行われています。技術の進歩に対しソフト面でのバージョンアップも簡単に対応できるため、診断に役立つより多くの情報を得られる装置になると期待されます。

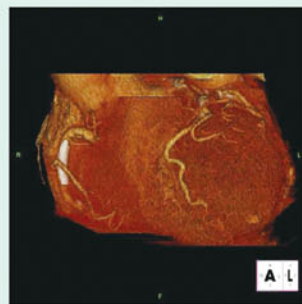
## (おわりに)

今回のCT・MRIの入れ替えに伴い、レポートシステムも一新され、長い間の念願であったモニター診断が手軽にできるようになりました。また、院外からの御紹介に対してはフィルムレス化もすすめています。フィルムでなく通常の半切サイズまたはA4サイズの特許用紙に画像を印刷しお届けしています。シャウカステンも不要で、画質も5年以上劣化しない保障付きのものです。また紙なので廃棄も従来のフィルムと異なり、通常の可燃物として処理できることもあり、先生方にも好評をいただいております。従来どおりのフィルムやCDにデータを落とした形でお届けすることも可能ですので、ご希望の際は、紹介時に御指示をいただければと存じます。

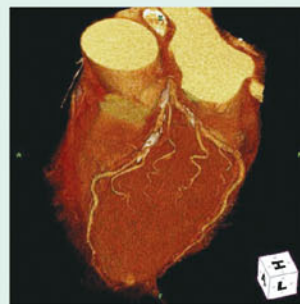
最後になりましたが、画像診断の情報量の増加および検査件数の増加の一方、当科のスタッフ数を増やすことは困難なため、誠に残念ですが、今年度4月から、当科は消化管検査を取りやめることになりました。これまで以上に画像診断に力を入れていく所存ですので、どうか皆様のご協力をお願い申し上げます。



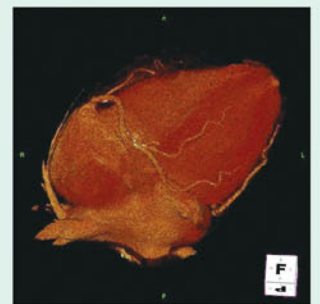
▲図エ：関節病変  
(手指)



▲図オ：冠動脈



▲図オ：冠動脈



▲図オ：冠動脈

## 平成20年4月以降の内科外来の 新患取扱いについて

内科主任部長

おかむらひでき  
岡村 秀樹



平成20年4月1日より、当院内科医師の減少に伴い、新規に内科を受診される患者さんにつきましては他医療機関からの紹介状が必要となります。

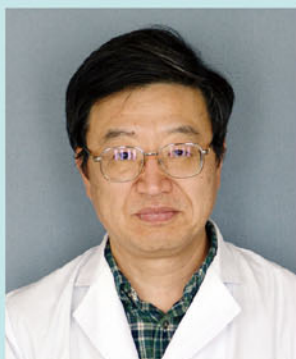
なお、他医療機関からの紹介状をお持ちにならずに来院された患者さんにおかれましては、地域医療連携室にて受診可能な医療機関をご案内しておりますのでご利用ください。

ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 平成20年4月からの小児科の 診療体制について

小児科部長

おかしょうき  
岡 尚記



全国的な小児科医不足は長崎県では特に深刻で、当科でもこの4月から小児科医が4名から2名に減員されました。この為、小児科の時間外診療と休日診療ができなくなります。平日の外来診療および午後の乳児健診、慢性外来、喘息外来は続けますが担当医が1名のことが多くなりますので、今までと同様の内容は困難となることが予想されます。

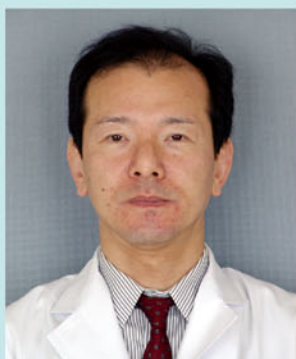
4月からは、月～金曜の夜間は8:00～11:00の間、佐世保市の休日診療所で救急外来診療が開始されます。それ以外の時間帯は、市立総合病院の担当となります。

他の病院や小児科医院への転院を希望される場合は、紹介状を準備しますので、ご遠慮なくお申し出下さい。皆様方には、ご迷惑をおかけして心苦しい限りですが何卒御理解をお願い致します。

## 『退職にあたって』

脳神経外科部長

かねこよういち  
金子 陽一



早いもので平成18年4月に着任してから2年が経とうとしています。前任の山川先生から引き継いだ脳神経外科を発展させるべく努力してまいりましたが、今回私が転勤となり、大学医局からの後任派遣が得られない為に休診の事態に至ったことはまことに残念です。原因はここ数年の脳外科志望者の急激な減少により、全国的に脳外科医局が縮小傾向にあるためです。病院での診療は福井前院長や他科の医師、看護師、その他の職員の皆様に良くして頂き、快適に行うことができました。福井先生には研修医時代からお世話になっていましたが、佐世保に来てからも、お宅にお邪魔したこと、あの猪パーティなど楽しい思い出がたくさんあります。今はただご冥福をお祈りしたいと思います。佐世保では一人暮らしで、自分を見つめ直す貴重な時間となりました。みなさんどうもありがとうございました。

# 地域医療 連携室より

Part.  
1

## 医療法人 大石医院

佐世保市木宮町5-31  
TEL:0956-48-4396

おおいし しゅうぞう

### 院長 大石秀三先生

今回はいつも患者さんのご紹介をいただいている大石秀三先生にお願いしました。



昭和53年山口大学を卒業し第2外科の医局に10年在籍後、佐世保に帰り、平成8年12月相浦に開業しました。病院の前院長(柴田匡之先生)が共済病院出身だったことから、病院を引き継いだ後も共済病院には大変お世話になり感謝しています。

夜遅くや休日にも、患者さんをお願いすることがありましたが、いつ連絡しても快く引き受けていただき助かっています。

当院はスタッフ17名で、地域に密着した医療に力を入れていこうと各々が患者さんのことを第1に考え、患者さんの満足のいくような診療を心がけるようにしています。

患者さんがつらい顔でこられ、笑顔になって帰っていくのを見られるのは、当院のスタッフにとっても大きな喜びです。昔から「病は気から」とはよく言ったもので、患者さんに笑顔がみられるようになったら病気は半分以上治ったも同然です。

当院は「家庭医」としての位置付けで、何かに特化したり、専門化したりする予定はありませんが、周辺地域の皆様の健康維持に少しでもお役に立てたらと思っています。

共済病院の先生方には、これまでもそしてこれからもまたお世話になることと存じますが何卒よろしくお願い致します。



■大石先生とスタッフの皆さん

## TOPICS 24時間えぼしたすきリレーに参加して 庶務課 もりき たつひこ 森木達彦

先日、3月8日(土)～9日(日)にかけて佐世保青少年の天地で開催されたこの大会に参加しました。24時間たすきをつなげるという過酷な大会で、佐世保共済病院チームとしてエントリーしたのは、今年で4回目となります。

医師、薬剤師、臨床検査技師、放射線検査技師、理学療法士、看護師、ソーシャルワーカー、調理師、事務員など、実に様々な職種を通じてたすきをつなぎ、最終的に走りぬいた結果は、171周(約220km)でした。見事なストライドで走った方、久々の運動で痛みと戦いながら走った方など内容は様々でしたが、大きな怪我もなく完走することができました。この大会を通じて、病院内の職種間の連携を強めていく架け橋となり、また、地域の皆さんとの交流を深めるきっかけとなったことと思います。



### 編集後記

院長をはじめ新体制でスタートした平成20年最初のきょうさいだよりをお届けします。医療界をとりまく環境は厳しい時を迎えていますが、こんな時だからこそ、しっかりと地に根を張って、表紙のように華やかな花を咲かせられるよう、職員一同協力して頑張っていきたいと思います。

編集委員 栄喜貴穂

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	主任部長	岡村 秀樹	●				●		●				血液疾患・内科一般
	部長	松見 里美	●				●				●		消化器疾患・内科一般
	〃	藤澤 伸光	●				●				●		呼吸器疾患
	医長	村上謹士郎	●		●				●		●		循環器疾患
	〃	原口総一郎	●						●				腎臓疾患
	医員	高島 毅			●		●						腎臓疾患
	〃	鈴木 邦裕			●				●				呼吸器疾患
	非常勤医	田淵くみ子			●						●		循環器疾患
〃	有村 忠聰									●		循環器疾患	
〃	多胡 素子					●						循環器疾患	
小児科	部長	岡 尚記	●		●		▲				●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息 ※▲は病棟回診後に診察開始のため遅れたり、外来診察ができない場合があります。
	医長	竹ノ下由昌	▲		▲		●		●				
	非常勤医	小松 博子							●		●		
	乳児健診					●							
慢性外来							●					水曜PM2:00～	
喘息外来									●			木曜PM2:00～	
外科	外科顧問	松永 章							●				内視鏡下外科・一般外科・消化器外科
	部長	井原 司	(●)				●		●				内視鏡下外科・一般外科・消化器外科（月曜日は紹介のみ受付）
	医長	澤田健太郎	●				●						血管外科・一般外科
	〃	川畑 方博			●						●		一般外科・肝胆膵外科
	〃	原田 洋			●						●		一般外科・消化器・乳腺外科
	医員	龍 泰彦	●				●						一般外科・消化器外科
	〃	平川 雄介							●				一般外科・消化器外科
〃	迫田 京佳			●						●		呼吸器外科	
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般
	部長	久我 尚之			●		●		●				・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術
	医長	寺本 全男	●						●		●		・膝・肩・手・肘の鏡視下手術
	医員	花田麻須大	●		●						●		・脊椎外科、腰部疾患手術
	〃	貝原 信孝			●				●		●		・肩・手の外科
	〃	古賀美穂子	●		●		●						・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など
〃	畑野 崇											・骨・軟部腫瘍	
皮膚科	医長	御塚加奈子	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹
	医員	鶴田 紀子	●	●	●		●		●	●	●		皮膚腫瘍、その他 皮膚小手術（火・水・金の午後）
泌尿器科	部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患
	医長	江口 二朗			●				●		●		体外衝撃波結石破砕術（ESWL）
	医員	東武 昇平			●		●						尿失禁、尿路感染
〃	松尾 朋博	●						●					
産婦人科	院長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術
	医長	河野 善明			●		●		■		●		更年期・婦人科疾患
	医員	岩永 巖	●■				●■				●		※●：婦人科診療日 ■：産科診療日
〃	山本 奈理	●		●				●		■			
眼科	医長	宇野 英明	●		●	※	●	※	●		●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術
	医員	舌間 朋美	●		●	※	●	※	●		●		翼状片手術、レーザー光凝固術、光線力学療法、眼瞼痙攣のボツリヌス注射など ※火・水曜の午後は術前検査と特殊再来（要連絡）
耳鼻咽喉科	医長	佐藤 公治	●		●		●		●	●	●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	渡邊 智	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	医長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査、消化管造影	
	医員	角 明子											
〃		江畑 智広											
麻酔科	部長	深野 拓	●				●		●				月～金午前ペイン外来
	医長	吉村 真紀	●						●		●		月～金午後は手術麻酔
	医員	鶴瀬 匡祐			●		●				●		
	〃	木本 文子	●		●				●				
	〃	中原 春奈			●		●						
非常勤医	別府 幸岐									●			
歯科・口腔外科	医長	川村 英司	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科（紹介患者のみ新患受付）
	医員	中井 大史	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど
健診センター	医長	原 敬一	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。										
	糖尿病教室						●		●		●		(第2・3週のみ) ※詳細は内科外来へお尋ね下さい。
ストーマ外来												※お申し込み・お問い合わせは、外科・泌尿器科外来までお電話下さい。	